

■東海北陸自動車道 上原橋(上・下部工)工事

2022年11月、東海北陸自動車道 五箇山ICから城端サービスエリア間の2.4kmおよび福光IC～小矢部砺波JCT間の3.5kmの4車線化が完成しました。その一部を構成する本橋は、供用線と近接し、高橋脚の施工であることから、高所作業や吊り荷に対する落下防止対策等の検討を重ねて、無事完成させることができました。

白川郷ICから小矢部砺波JCT間で事業中の区間につきましては、早期完成に向けて鋭意工事を進めてまいります。

【構造諸元】 上部工形式：PRC4径間連続ラーメン波形鋼板ウェブ箱桁橋
橋長：349m
径間数：4径間(50.3m+104m+110m+82.3m)

視点

- 2 高速道路リニューアルプロジェクト
■東日本高速道路(株) 新潟支社副支社長 今川 俊二

地域の動き

- 3 県民の生命・身体・財産を守る拠点施設が完成
富山県防災危機管理センターの供用開始
■富山県危機管理局防災・危機管理課

- 5 つながる・にぎわう 新たな新潟へ
新潟中央環状道路の部分開通について
■新潟市 土木部 道路計画課

技術レポート

- 7 藤沢川第3号砂防堰堤その3工事
砂防堰堤工事におけるDX導入・
担い手不足の解消への取組みについて
■(株)加藤組 現場代理人 伴田 和孝



- 9 北陸新幹線工事における生産性向上の取組み
橋梁高架橋工事における
橋脚型枠組立て工夫の施工事例
■(株)熊谷組 土木事業本部 神崎 恵三

シリーズ 現場技術者の「知得」

- 13 令和5年度 積算基準等の改定概要について
■北陸地方整備局 企画部

- 17 ICT活用工事の推進について
■新潟県 土木部 技術管理課



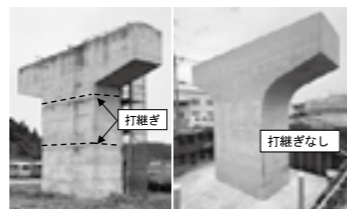
富山県防災危機管理センターの外観
▶P.3



中ノ口川大橋 ▶P.5



ICTプレーカー掘削状況 ▶P.7



《従来工法》 《PRL-SW工法》
出来映え比較 ▶P.9



ICT活用工事普及・マッチング体験会 ▶P.17

職場紹介

- 19 地域との共創社会の実現を目指します
地域社会に貢献
■北本建設(株)



消雪パイプ調整点検 ▶P.19

先輩なう!

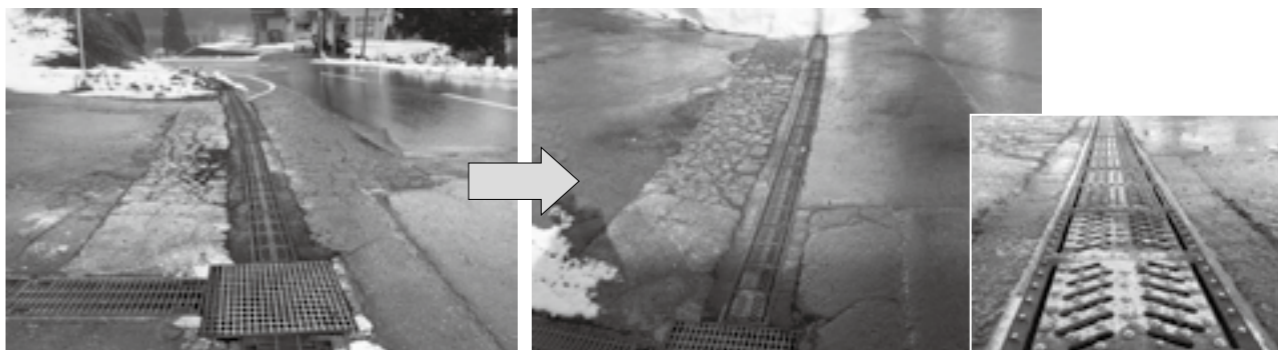
- 22 地域の人々の暮らしを支える建設業
■富山県 富山土木センター 工務第一課 道路改良第二班
金山 英祐 さん



富山県 富山土木センター
工務第一課 道路改良第二班
金山 英祐 さん ▶P.22

新技術情報

- 23 ■Made in 新潟 新技術普及・活用制度
・除雪配慮型 鋳鉄製横断側溝グレーチング蓋
【登録番号：2022D101】
高橋土建(株)、日之出水道機器(株)



除雪配慮型 鋳鉄製横断側溝グレーチング蓋 ▶P.23



「i-Construction (アイ・コンストラクション)」とは?

国土交通省では、建設現場で働く労働者一人一人の生産性を向上させ、魅力ある建設現場を実現する「i-Construction」の取組みを進めています。

「i-Construction」は、「ICT技術の全面的な活用」、「規格の標準化」、「施工時期の平準化」等の施策を建設現場に導入することによって、建設現場のプロセスの最適化を図り、もって魅力ある建設現場を目指す取組みです。

本誌では「i-Construction (アイ・コンストラクション)」に関連する取組みや建設現場などの記事を読者の皆様にわかりやすく知って頂くために、当該記事に上記ロゴを表示しています。

※このロゴは平成30年6月1日に国土交通省が決定したロゴです。建設業界はもちろん、業界を超えて社会全体から応援される取組みへと「深化」するシンボルとなっています。

「北陸の建設技術」への意見、ご感想がありましたらお聞かせください。
E-mail:hokugi@hrr.mlit.go.jp